

令和6年度

初任者研修について

令和6年4月

広島市教育センター

はじめに

- 困り感や思いに寄り添う
- 日常的にかかわる
- 安心して働ける職場

「教師になってよかった」と思える1年に

人材育成基本方針

使命感や責任感・教育的愛情

- ・教職に対する責任感
- ・自主的に学び続ける力
- ・教育的愛情

教員に求められる資質・能力

専門職としての高度な知識・技能

- ・専門的知識
- ・確実に実践できる力
- ・新たな学びの実践的指導力

総合的な人間力

- ・豊かな人間性や社会性
- ・コミュニケーション能力
- ・チームで対応できる力
- ・地域や社会の多様な組織等と連携・協力できる力

校長および教員の資質の向上に関する指標

校長及び教員としての資質の向上に関する指標

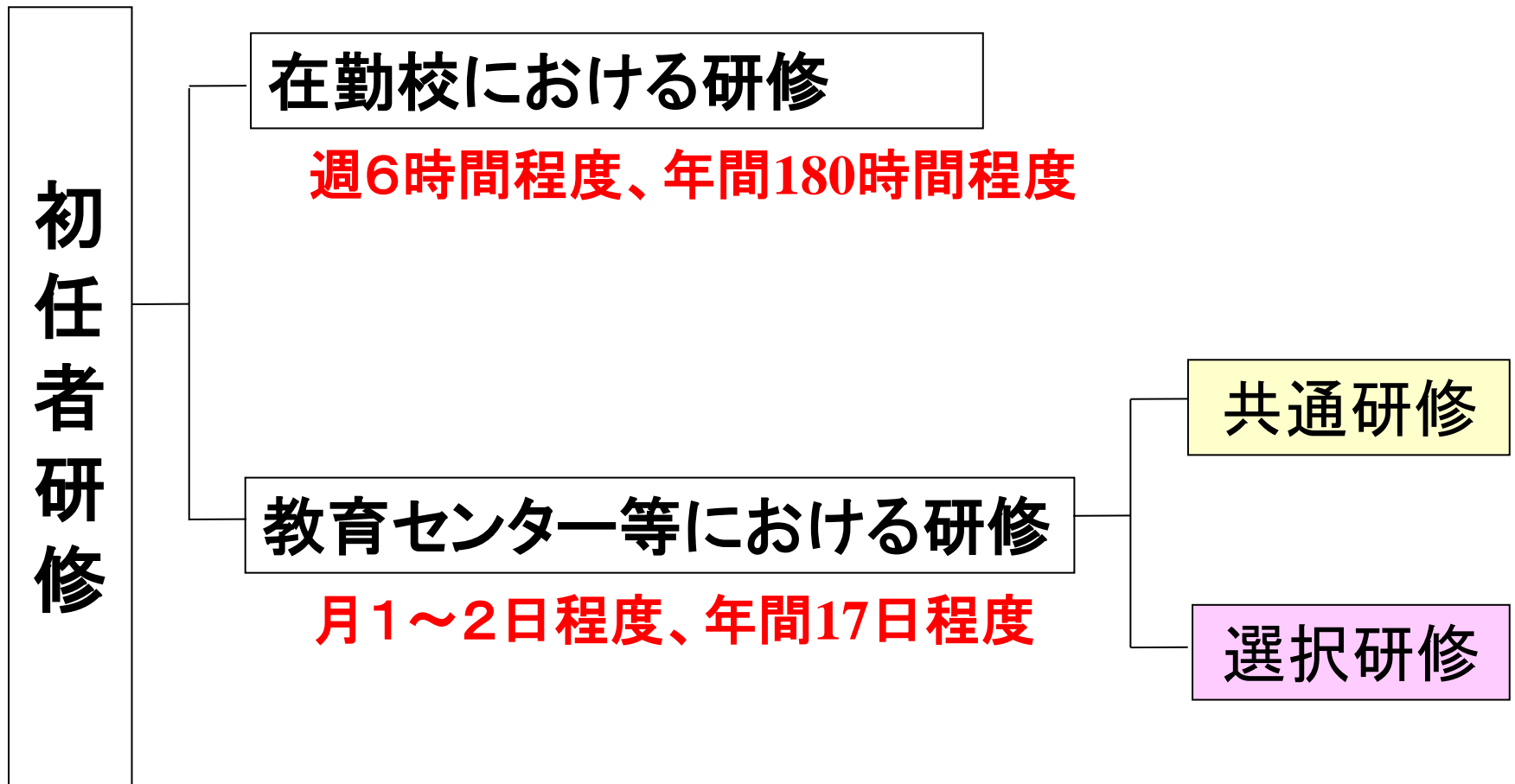
【教員】

3領域	10項目	番号	内 容	若手前期 (1～3年次)	若手後期 (4～6年次)	中堅育成期 (7年次～)
使命感や責任感・教育的愛情	教員に対する責任感	1	うまくいかないことがあっても、あきらめず前向きに対応し続けることができる。			
		2	教育公務員として服務規律(不祥事防止、コンプライアンス)を遵守し、規範意識をもって職務に専念することができる。			
		3	生命・心身を脅かす事故・災害等に警備から備え、危機管理の知識や視点をもち、様々な場面に対応できる。			
		4	自己の考えのみで判断せず管理職や同僚の話を聞くなど、客観的な情報に基づいた判断をすることができる。			
	学び続ける力	5	管理職や同僚等の助言を謙虚に受け止め、自分を振り返り、自己の成長につなげることができる。			
		6	常にチャレンジ精神や向上心を持ち、新たなことを取り入れるための研修に参加するなど自己研鑽に努めることができる。			
		7	社会の動向に関心を持ち、市の教育振興基本計画等(国や県の計画を含む)を踏まえて教育実践を行うことができる。			
		8	幼児、児童及び生徒に公平かつ受容的・共感的に関わり、子どもの行動の内面にある喜びや不安などを捉えることができる。			
		9	常に幼児、児童及び生徒の状況を把握し、変化を捉え、子どもにとって何が最善かを踏まえ、個に応じた適切な働きかけを継続的に行うことができる。			
専門職としての高度な知識・技能	確実に実践できる力	10	書籍や研修等から今日的な教育の動向を把握し、専門的知識・技能を習得することができる。			
		11	幼児、児童及び生徒同士の関係や仲間集団を把握し、よりよい人間関係づくりや集団づくりに取り組むことができる。			
		12	特別な配慮や支援を必要とする幼児、児童及び生徒の特性等を理解し、組織的に対応するために必要となる知識や支援方法を身に付けるとともに、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。			
		13	自尊感情を育むための手立てについて理解し、幼児、児童及び生徒の自己肯定感を高める取組を行うことができる。			
		14	キャリア教育や進路指導の意義を理解し、地域・社会や産業界と連携しながら、学校の教育活動全体を通じて、幼児、児童及び生徒が自分らしい生き方を実現するための力を育成することができる。			
		15	個々の生徒指導上の課題等について、その予防・解決に向けての教育相談の意義や理論を理解し、適切な指導・支援を行うことができる。			
		16	不登校やいじめなどの教育課題について理解し、その予防・解決に取り組むことができる。			
		17	幼児、児童及び生徒の特性やよさを認め、幼児、児童及び生徒が安心・安全に過ごせる温かい学級・ホームルームづくりに取り組むことができる。			
		18	学校教育目標を理解し、その実現に向けた学級経営案やホームルーム計画を立てることができる。			
		19	教職員や家庭・地域と連携しながら、開かれた学級・ホームルーム経営を進めることができる。			
		20	幼児、児童及び生徒一人一人の特性やよさを見取り、学校生活や学習に対する意欲や興味・関心を引き出すことができる。			
		21	年間指導計画に位置付けられている教材の価値を捉え、教材研究を行うことができる。			
		22	学習指導要領等と幼児、児童及び生徒の実態を踏まえ、学習指導案を作成することができる。			
		23	発問や板書、机間指導等を効果的に用いて、授業のねらいに応じた指導を行うことができる。			
		24	学習指導案や日々の授業計画等に基づき、授業を実践することができる。			
		25	学校教育目標を踏まえ、具体的な教育活動を示した年間指導計画を作成することができる。			
		26	授業の見方・観点について理解し、自他の授業分析から目標の達成に向けた授業を実践することができる。			
27	学習評価の在り方を理解し、評価規準を用いて幼児、児童及び生徒の学習状況を把握することができる。					
28	同僚の授業を参観し、そこから見える成果や課題を適切に評価し、自己の学びにつなげることができる。					
29	教科等における自校の課題について、教育データ等を活用して分析・考察し、学力の定着・向上等に取り組むことができる。					
30	カリキュラム・マネジメントの意義を踏まえ、PDCAサイクルを生かした学習指導等について理解し、指導方法の工夫・改善を行うことができる。					

初任者研修の目的(p.1)

- 授業力等の**実践的指導力**を養うこと
- 教師としての**使命感**を養うこと
- **幅広い知見**を得させること

初任者研修の構成 (p.12)



在勤校における研修(p.20)

年間
180時間

基礎的素養 32時間

- ・学校教育に関する研修
- ・学校健康教育等に関する研修
- ・教育課題に関する研修
(人権教育、平和教育、特別支援教育、国際理解教育など)

・教員の服務等に関する研修

学習指導 100時間

(教科・道徳・特別活動・自立活動・総合的な学習(探究)の時間)

60時間以上

- ・教科・領域の基本的事項に関する研修
- ・授業研究(初任者による授業、示範授業、授業に関する協議等)

**学級・ホーム
ルーム経営** 16時間

- ・学級・ホームルーム経営の基本的事項に関する研修
- ・学級・ホームルーム経営の計画・実践・評価及びその成果と課題の明確化

生徒指導 16時間

- ・生徒指導の基本的事項に関する研修
- ・生徒指導の計画・実践・評価及びその成果と課題の明確化

研修のまとめ(成果と課題)と次年度の展望 16時間

教育センター等における研修(p.22)

<共通研修>

○服務研修	1日
○教育実践基礎研修 (特別支援学校)	8日 (7日)
○所属校における授業研究	1日
○相互参観研修(共通)	1日
○施設等訪問研修	1日
※小学校実技研修(小学校のみ)	2日
合計 小学校 14日 中学校 12日 高・中等教育学校 12日 特別支援学校 11日	

教育センター等における研修(p.22)

<選択研修>

共通研修＋選択研修
年間17日

○申込研修

○随時研修

○施設等訪問研修

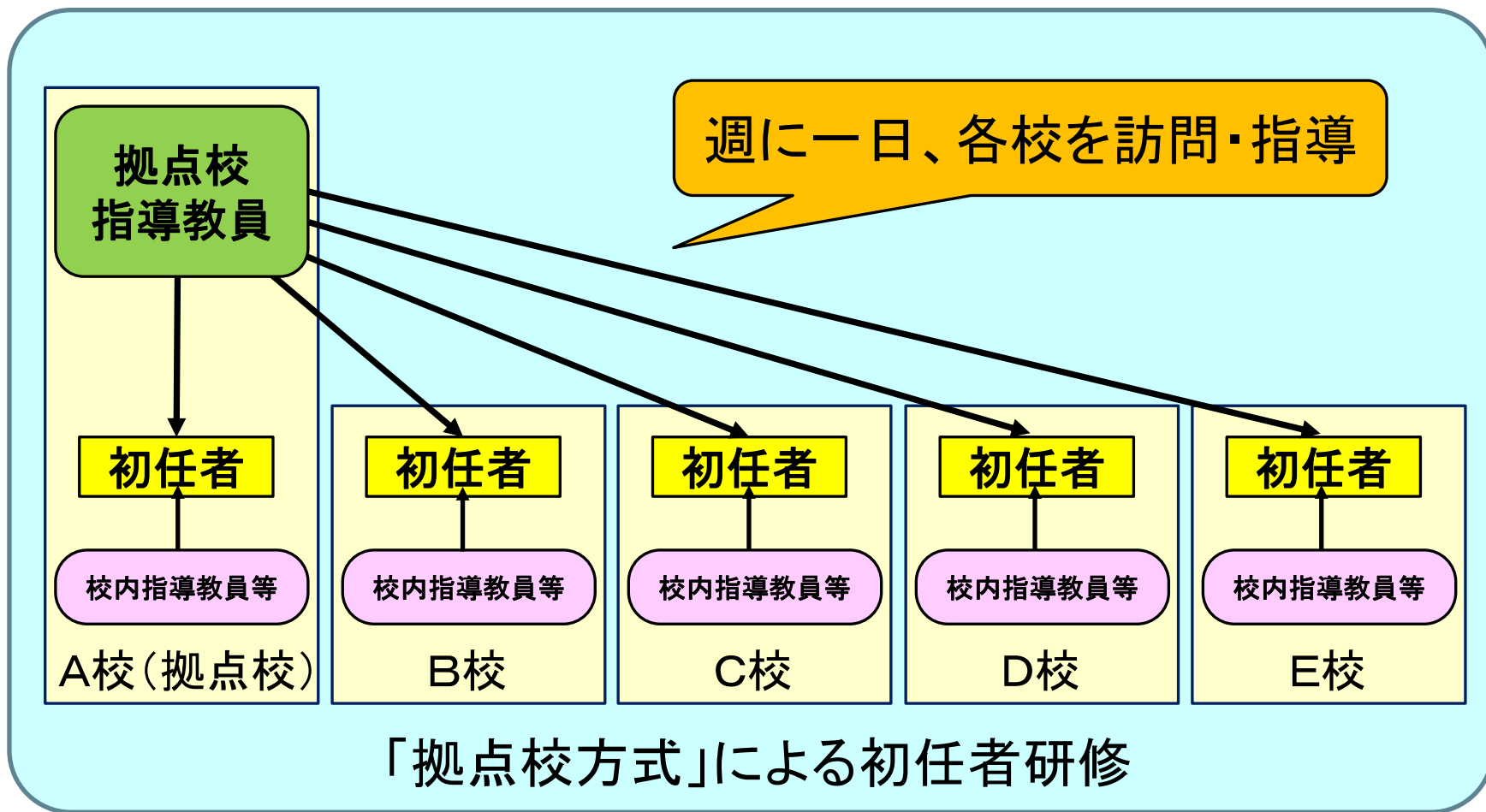
○他校視察・参観研修

○各種研修会

合計

小学校	3日
中学校	5日
高・中等教育学校	5日
特別支援学校	6日

拠点校方式とは



初任者5人に1人の割合で拠点校に配置する指導教員(拠点校指導教員)及び各校に配置するコーディネーター役の指導教員(校内指導教員)を中心として研修を実施する方式

週間指導計画表例

	月	火	水	木	金
1 時限	演習や協議 (拠点校指導教員)				
2 時限	講 話 (拠点校指導教員)				
3 時限	初任者の授業 (拠点校指導教員)			示範授業 (校内指導教員等)	
4 時限	演習や協議 (拠点校指導教員)			(校内指導教員)	
5 時限	(拠点校指導教員)	講 話 (校内指導教員等)			
6 時限	(拠点校指導教員)				
放課後					
	(拠点校指導教員)				

拠点校指導教員・校内指導教員の役割(p.13～15)

拠点校指導教員

○事務

(年間指導計画及び報告書の作成への参画、指導記録の作成・整理 等)

○指導

- ・内容(基礎的素養、学習指導、学級・ホームルーム経営、生徒指導 等)
- ・形態(授業、示範授業、講話、実習、演習、協議 等)

校内指導教員(初任者研修のコーディネーター)

○事務

(年間指導計画に基づく指導内容を具体化するための調整等)

○指導

- ・内容(基礎的素養、学習指導、学級・ホームルーム経営、生徒指導、校務分掌 等)
- ・形態(研究授業、示範授業、講話、実習、演習、協議 等)



拠点校指導教員等の職務に係る時間数(p.15)

<p>拠点校指導教員・ 校内指導教員等の 職務に係る時間数 (全体)</p>	<p>週<u>10時間</u>程度 少なくとも 年間<u>300時間</u>程度</p>
<p>拠点校指導教員</p>	<p>週1日程度(1日<u>7時間</u>) 少なくとも 年間<u>210時間</u>程度</p>
<p>校内指導教員を中心とする 校内の他の教員</p>	<p>週<u>3時間</u>程度 少なくとも 年間<u>90時間</u>程度</p>

配置校方式

配置校指導教員・教科指導員の役割(p.13)

- 事務（年間指導計画及び報告書の作成への参画、指導記録の整理 等）
- 指導
 - ・ 内容（基礎的素養、学習指導、学級・ホームルーム経営、生徒指導、校務分掌 等）
 - ・ 形態（研究授業、示範授業、講話、実習、演習、協議 等）
- 代替授業（初任者が教育センター等で研修をしている間の授業の代替）

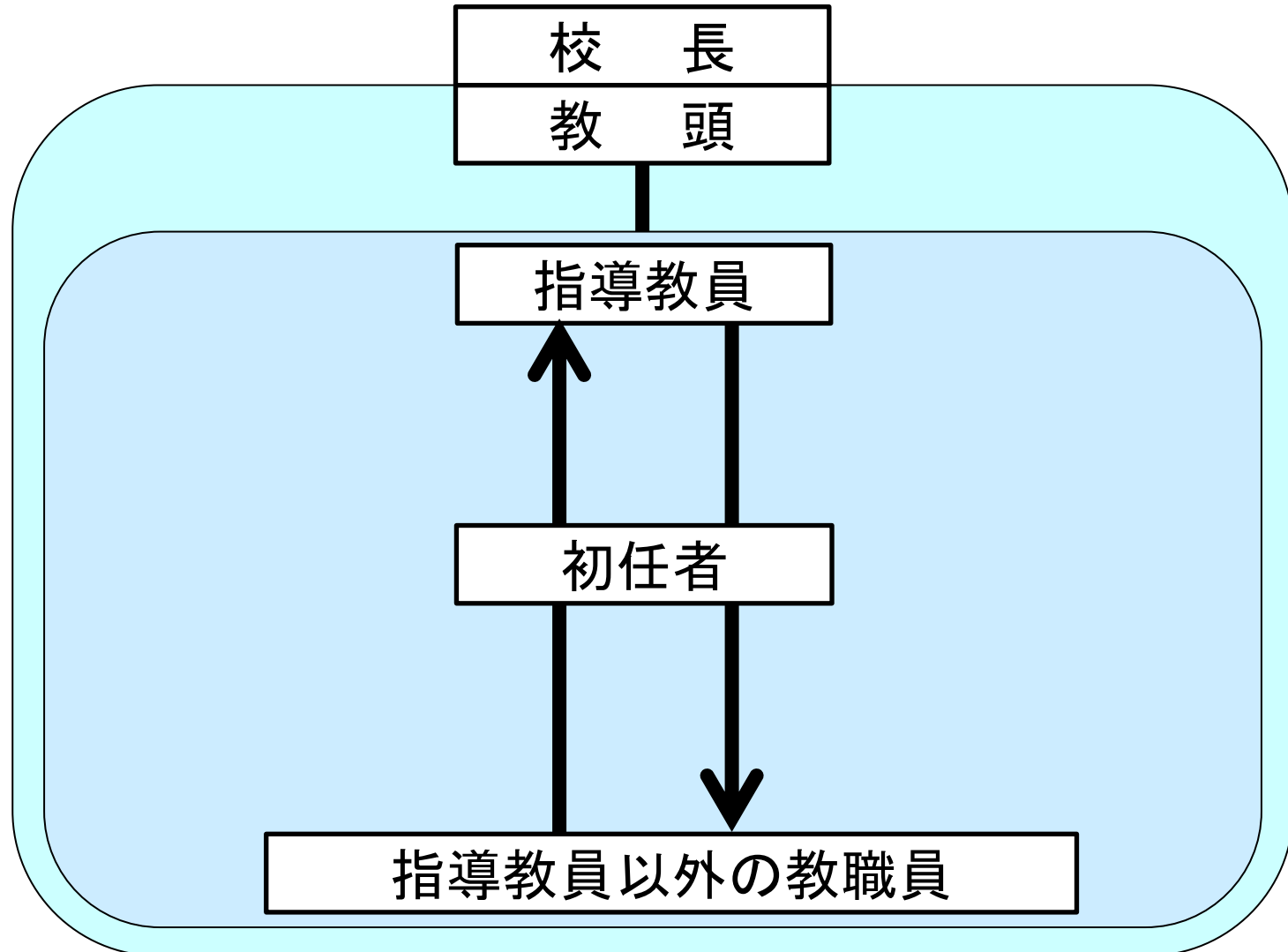
配置校指導教員・教科指導員の

職務に係る時間数(P.13)

週10時間程度

少なくとも年間300時間程度

校内の協力体制の確立 (p.16)



提出書類(4、5月分)について

		提出書類	提出期限
1	資料5	指導教員の命課について	4月5日(金)
2	冊子 p.34～35	年間指導計画書	5月15日(水)
3	冊子 p.36～39	週指導計画表及び 週時間割表	

※ 初任者研修にかかる提出書類の様式は、教育センターのホームページの「広島市教職員専用ページ」に掲載しています。